（様式1）

学校番号	47	学校名	茨城県立土浦第三高等学校

令和6年度道徳教育全体計画

諸法規

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
茨城県教育委員会施策

校訓

至誠・自立・協和

学校の教育目標

生徒一人ひとりの個性や能力の伸長を図るとともに「生きる力」や「豊かな心」を育み、社会に貢献できる人材を育成する学校

生徒の実態

1 規範意識はしっかりしており、指導に素直に従う。

2 自己実現への強い意思があり、そのための知識・情報の習得に意欲的である。

保護者の願い

豊かな人間性・社会性の向上

道徳教育重点目標

道徳教育を推進し、人間としての在り方生き方に関する指導の充実により、豊かな人間性・社会性を身に付けさせる。

地域の実態

商業住宅農村地域の混在

各教科・科目

国語	学習する習慣を身に付けさせるとともに、基礎学力の向上及び言語能力の育成を図る。
地歴	基礎学力の向上と進路目標の達成を図るとともに地歴科への興味・関心を高める。
数学	基礎的・基本的な知識・技能の習得と学習意欲の向上を図る。
理科	自然科学のすばらしさを実感できる授業の実施に努める。
保体	体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度や、互いに教え合う能力を養う授業を展開する。
芸術	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる。
外国語	基礎学力の向上と定着を図るとともに、コミュニケーション力を育成する。
家庭	生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
情報	情報に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得させるとともに、問題解決能力の向上を図る。
総合的な探究の時間	探究的な学習を通して課題発見・解決能力の育成を図り、変化の激しいこれからの社会を生き抜く力を育成する。
専門	検定資格を取得させ、活用する力を身に付けさせる。

特別活動

ホームルーム活動

1 ホームルーム活動の時間を活用し、豊かな心の教育を充実させる。

2 学校行事を通して、集団への所属感や連帯感を深め、学校生活を築こうとする自主的な態度を育てる。

1 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
2 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
3 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

公民科

公共

公民科への興味・関心を高め、主権者としての自覚を高める。

1 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する
2 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを理解する。
3 伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成し、他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることを理解する。

生徒指導

生徒の規範意識を向上させ、本校生としての自覚とマナーを心得た生徒を育成する。

家庭との連携

1 PTAの各行事の内容充実に努め、保護者への積極的な参加を呼びかけことにより家庭との連携を密にする。
2 PTA総会・支部会等への参加を積極的に促し、内容や資料の充実を図る。
3 生徒の学校生活に保護者が接する機会として、授業見学や登校指導を計画する。
4 学校の教育活動への理解や支援を得るために、PTA広報紙「岩田ヶ丘」を年2回発行する。
5 会員相互の理解と親睦のために「PTA親睦会」や「PTA研修」などを実施し、PTAの組織の充実と結束を図る。

地域社会との連携

1 校外活動やボランティア活動への積極的参加を推進し、社会において必要な実践力を育成する。

2 保護者や地域住民との情報交換を積極的に行い、相互の理解と協力体制の確立を図る。

3 インターンシップ制度の充実を図る。